

夏 立体救急服仕様書

熱海市消防本部

第1 総則

1 目的

この仕様書は、熱海市消防本部が購入する救急服について必要な事項を定めることを目的とする。

2 概要

夏救急服は、消防吏員が着用する物件であり、消防活動に適するものであること。

3 条件

この夏救急服に使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書すべてを満たし仕上がりが優良な製品であること。

4 見本の制作

当本部より指示のある場合は、この仕様書により見本を制作し、当本部の承認を受けること。

5 その他

この仕様書の内容について、疑義が生じた場合は、当本部と協議の上、解決すること。

夏救急服（長袖・ズボン）仕様

I 概要

この仕様は、熱海市消防本部（以下「本部」という）が購入する夏救急服上下について定める。

1 総則

- (1) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (2) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。
- (3) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、所属ごとにまとめて納品する事。
- (4) この仕様書に疑義を生じたときは、本部の指示を受けなければならない。
- (5) 採寸方法は、見本採寸とし、受注者はサイズ規格表を作成の上、その表と見本を本部へ提出すること。採寸は本部が行い、採寸後にサイズ別の発注数量を決定するものとする。（採寸期間は概ね1週間程度とする）
- (6) 落札業者は、業者の勝手な判断で縫製要領の内容を勝手に変更してはならない。

2 品名及び数量

夏救急服	上衣	4着
夏救急服	下衣	4着
ベルト		4本

3 納 期 令和3年10月29日

4 納入場所 熱海市消防本部

夏救急服（長袖・ズボン）仕様書

5 形式（立体裁断）

（1）上衣

長袖・カッター衿型、肩章付、背タックなし、前比翼ファスナー式（マジック4ヶ所止め）、袖口ファスナー式、左右胸ポケット雨蓋付、脇部切り替え、脇下ベンチレーション機能、左袖ペンライト入れ付き、

（2）下衣 ※内股部伸縮機能付き

ワントック、両脇ポケット付き、後ダーツ、左上前ファスナー開き前カン止め、後身切り替え、内股部三角形型ハギ入り（伸縮機能付き）、内股シック補強（四ヶ所止め）、ベルトループ7本付、左右後インダーツ式貼付ポケット（釦止め仕様）、尻合わせ・脇片倒しステッチ縫製、裾ルイス仕上げ、ひざ当て付き。

6 主材料・品番

（1）上衣

帝人（株）SO2792

混紡率

ポリエステル88%（うち再生ポリエステル25%）綿12%

番手

経T/C 33/2

導電性繊維 1本/2cm以上混入

緯SD 167T48/2

組織

トロピカル

密度

経65本以上 緯53本以上（インチ間）

重量

130g/m²以上

色相

当本部指定色

引裂強力

経14N以上 緯17N以上

染色堅牢度

耐光 4級

洗濯（変）4級以上（汚）4級以上

摩擦（乾）4級以上（湿）4級以上

汗（変）4級以上（汚）4級以上

汗耐光 4級

寸法変化率

±2%以内（タテ、ヨコ共）

制菌性

殺菌活性値>0（特定用途）*SEK赤ラベル対応

（2）衿芯

テトロン芯（プレス接着）

（3）芯地

ポリエステル

（4）縫糸

ポリエステル糸

（5）釦

ポリエステル たらい型

(6) 下衣

表生地	日本毛織 (株) K S K 1 1
混紡率	新羊毛 30%再生ポリエステル 69.5%導電性繊維 0.5%
番手	経 2 / 4 8 緯 2 / 4 8
組織	トロピカル
密度	経 2 0 6 本以上、緯 1 8 6 本以上 (1 0 cm間)
重量	1 6 9 g / m ² 以上
色相	当本部指定色
染色堅牢度	汗 (酸) 4 級以上 (アルカリ) 4 級以上 洗濯 4 級以上 摩擦 (乾) 4 級以上 耐光 5 級以上
寸法変化率	± 2 %以内 (タテ、ヨコ共)
引裂強力	経 4 0 N以上 緯 4 0 N以上
伸長率	緯 6 %以上
撥水度	初期 5 級以上 ドライ 3 0 回後 4 級以上
制菌性	殺菌活性値 > 0 (特定用途) * S E K 赤ラベル相当

(7) マーベルト ポリエステル 1 0 0 %

(8) ファスナー Y K K 製

(9) 釦 ポリ釦

上記以外の素材・品番については、混紡率及び色相・性能が相違ない素材に限る。入札及び見積り合わせ前に、製品見本を作成し、担当課の承認を得た上で入札及び見積り合わせに参加する事。承認なき場合は無効とする。

7 縫製条件

(1) 針数

3 c m間で地縫いは 1 2 針以上、飾り縫いは 1 2 針以上、オーバーロックは 8 針以上とする。

(2) 穴かがり

上衣はネムリ穴とする。上衣の前立は肩章、衿台はヨコとする。

(3) 釦 付

機械付又は手付とする。手付は 2 本の糸を 1 個の穴に 3 ~ 4 回通し根巻は 3 回以上とする。

(4) 裁 縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。縫い糸はテトロン糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

8 縫製要領

(1) 上衣

ア 主衿

テトロン芯を入れ、衿巾は中央で4.5cm（衿合巾3.5cm）衿先巾6.7cmとする。

襟周囲を配色生地にてラインを入れる。

イ 比翼幅

上前部は巾3.8cmとし、下前部は巾3.5cmにて折返し、衿台より裾までステッチミシンを入れる。

ウ 衿吊

衿吊は衿付中央に、はさみ縫い付けとする。（襟台裏は配色を施す）

エ 胸ポケット

胸ポケットは左右2ヶで雨ブタ付とする。雨ブタには所定のテトロン芯を入れる。

雨ブタは巾中央で高さ6.5cm（端部で高さ5cm）横14.0cm、胸ポケットは横巾13.5cm、深さ15.5cm、インダーツとする。

雨蓋はマジック止め（20mm×50mm）とする。（ループは不可）

オ ペン刺し

左胸ポケット雨ブタの中心部から3.5cm内側に入った所に巾3.5cmのペン差しをつけ、左ポケットにも内側より口巾3.5cmのペンセクションを設ける。

カ ペンライト入れ

左袖に袖付けより9cm下に巾4.0cm、長さ15cmのペンライトポケットを縫い付ける。

キ 前立て

前立ては比翼式ファスナーとし、面ファスナーを4ヶ所取り付ける。

ク 背ヨーク

背ヨークは一枚仕立とし、ヨーク巾は中央で19cm、はさみ縫いとし表一条飾りミシン縫いし、角ゴシック体で「静岡県 熱海市消防本部」と二段の刺繍を入れる。（図1参照）

ケ 肩縫い

片倒しステッチ縫いとする。

- コ 脇身頃
脇身頃は裾から袖口までハギを入れ、腕の活動域を広げ、活動時において裾がズボンからはみ出す等の服装の乱れが起こりにくい構造とする。
- サ 背タック
タックは入れないこと。
- シ ベンチレーション
蒸れ解消のため脇下部にベンチレーション機能を設ける。
- ス 袖
2枚袖とし、後袖切り替え線は肩袖側に片倒しをし、飾りステッチをファスナー開き止りまでかける。後袖切り替え線上の袖口に突合せのファスナー開きを設ける。
ファスナー開き部分に、三角マチ布をカフス付け位置まで付ける。前袖切り替え線も肩袖側に片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。脇袖切り替えは前袖後袖側へ片倒しをし、カフス付け位置まで飾りステッチをかける。
- セ 袖付け縫い
本縫し更にオーバーロックをかける。(インターロックミシン可)
- ソ 袖口(袖裏指定配色生地)
袖は後袖切り替え線上の袖口に突合せのファスナーあきを設け、ファスナー開閉式とする。
- タ 片布・品質表示
氏名片布を上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示を縫い付ける。
- チ サイズネーム
衿付中央の下縁に、はさみ縫い付ける。
- ツ 階級章台
下前身頃雨ブタ付根、中央上部1.5cm上にタテ2.5cmヨコ4.0cmのマジックテープ台(メス)を上衣と同色で縫い付ける。
- テ 肩章(指定配色生地)
巾は5.0cmとし、端を袖付けの縫目に縫込みクロスステッチを入れる。肩章の先は衿付根部より1.5cm下がった位置とする。
- ト 裾折り返し
裾は三ッ巻き縫いとする。
- ナ 左右胸デザイン 落札業者は契約後、消防本部と要相談
- ニ エンブレム台座

(2) ズボン

ア 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

イ 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 35mm幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、冑止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。右下前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。持ち出し布は表裏共に表地とし見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを各 1 個付ける。ポケット口の長さ 160mm。口の上下端に冑止めをする。口にはコバステッチと 6mm幅のダブルステッチをかける。向う布の表地端は、袋布に縫い合わせる。袋の周囲は袋縫いをする。

エ 後・尻合わせ部

後中心の尻縫いは片倒しし、飾りステッチをかけ、裁ち目はオーバーロック仕上げとする。脇線と後中心の間に裾口まで切り替え、脇下の方へ片倒しステッチをかける。（強度を確保するため、片倒しステッチ縫製を採用する事。）

オ 後ポケット

左右後に口幅 16.5 c m、深さ 18 c mのインダーツ式貼りポケットを各 1 個付ける。

口の両端は冑止めをする。裁ち目は 2 つ折り縫い、又はオーバーロックかがりとする。ポケット口は釦止め仕様とする。

カ ベルトループ

ベルト通し幅 55mm、長さ 25mmのものを両脇に各 2 本、通し幅 55mm、長さ 50mmのホームベース型の物を、前タック位置、後中心の 3 本、合計 7 本付ける。

キ シック補強

内股クロス十字部にシック布を補強のため四ヶ所に縫い止める。

ク 裾

裾はオーバーロックのハーフ始末とする。

- ケ 脇縫い
後へ片倒しとし、飾りステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。
- コ 内股補強
縫い割し、股交差部に左右対称の三角形型のハギを入れ、股割動作に対する突っ張りを緩和する伸縮構造を用いる事。
- サ サイズ表示・品質表示
片布下端に挟む。
- シ 氏名片布
左脇ポケット袋布に縫着する。
- ス ヒザ当て
装着する。

救急服（長袖・男女兼用）上衣サイズ表

（出来上がり寸法 単位：cm）

	胸 囲	着 丈	肩 巾	長袖丈	ネック	半袖丈
000号	95	72	42	53	40	19
00号	100	72	43	53	40	20
0号	105	72	44	54	40	21
1号	110	75	46	56	40	22
2号	115	78	48	58	41	23
3号	119	81	49	60	42	24
4号	119	75	49	55	43	22
5号	125	78	51	57	45	23
6号	129	81	53	59	46	24

救急服(ズボン・男女兼用)下衣サイズ表

(出来上がり寸法 単位：cm)

部 位 サ イ ズ	ウ エ ス ト	ヒ ッ プ	股 下
000号	64	97	〃
00号	67	100	〃
0号	70	102	〃
1号	73	102	〃
2号	76	102	〃
3号	79	104	〃
4号	82	106	〃
5号	85	108	〃
6号	88	110	〃
7号	91	113	〃
8号	95	117	〃
9号	100	119	〃
10号	105	123	〃

(図1)



配色 (白色)

<仕様図>

配色 (PB色)

